

パーククラブの組織運営及び平成24年度活動方針・活動計画について

◆検討の流れ

これまでの検討の流れは以下の通りである。

1. アンケート調査
 期間:2011年11月20日(日)-11月29日(火)
 対象者:45名(1、2期生のみ)、回答人数:27名、回収率:60%
 内容:部会の構成をこれから検討していくにあたり、会員の意向を把握するため、部会に関するアンケート調査を行った。

2. パーククラブ会議:組織運営及び平成24年度活動方針・活動計画の検討(その1)
 日時:2011年12月25日(日)13:00~16:00
 参加:19名/場所:府営りんくう公園事務所
 内容:アンケート調査結果を共有し、その結果をもとに作成した部会の案について検討した。
 結果
 ・部会構成について多くの意見が出され、パーククラブ会議では意見の収集がつかない。役員会である程度の方向性を固めて次回のパーククラブ会議で再度議論することとなった。

3. 役員会:組織運営及び平成24年度活動方針・活動計画の検討(その2)
 日時:2012年1月11日(土)16:00~17:30
 参加:7名/場所:現地
 内容:パーククラブ会議を受けて、役員会で部会の構成について整理した。
 結果
 ・計画係の下に公園整備、調査、農の班を設置する案が整理された。
 ・それに伴い、役員は6名増員する案が整理された。

4. パーククラブ会議:組織運営及び平成24年度活動方針・活動計画の検討(その3)
 日時:2012年1月21日(土)13:00~16:00
 参加:27名/場所:府営りんくう公園事務所
 内容:役員会において検討した部会構成の案について議論した。
 結果
 ・役員会の案で会員の了承を得た。4月以降、部会に分かれて活動を行っていく。

今後
 班分けを行い、試験的に活動を始める。問題などあれば、随時変更を加える。

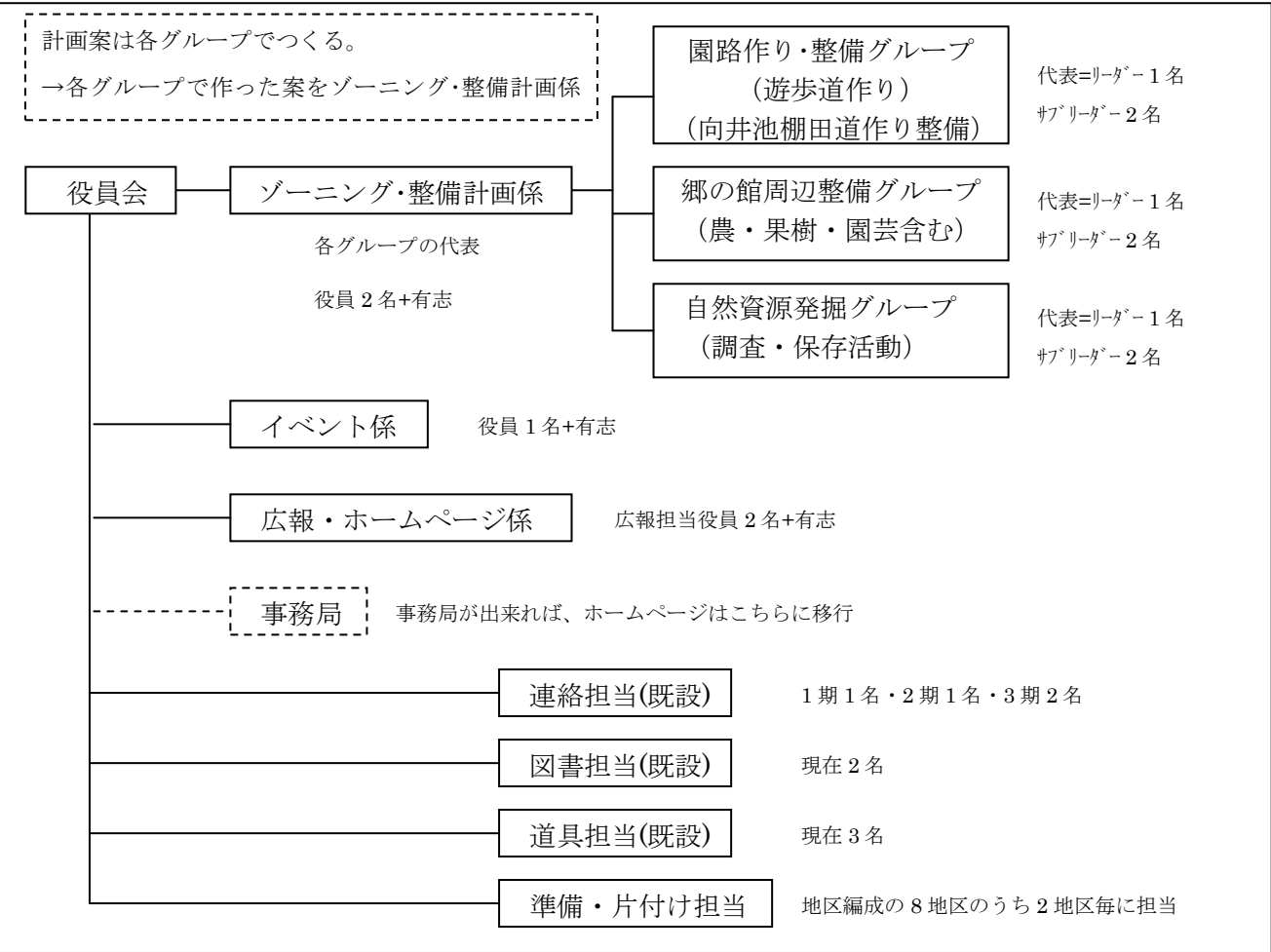
◆部会の必要性

- ・パーククラブ3期生が加入し、会員の人数が増えたため、これまでよりさらに組織だった行動が必要となった。
- ・これまでの公園整備の活動だけではなく、農業など会員の楽しみにつながる活動を増やしていく必要がある。

以上の理由から、部会(班)をつくることとなった。ただし、「部会」をつくと、部会相互の関係が薄くなる危険性がある。そのため、班分け程度のゆるい区切りで活動を分けておき、いつでも入れ替わり自由な形で活動をゆるく分けていく「班分け」という形で当面進めていく。

◆パーククラブの組織構成

2012年4月以降のパーククラブの組織構成は以下の通り。



平成24年パーククラブ活動計画図

- コラボレーション区域
- 管理道
- 管理道(工事中)
- 管理道(作業予定) → 園路作り・整備G (全体活動含) 担当
- ※管理道は管理用車両が通る園路
- 遊歩道
- 遊歩道(作業予定)
- 遊歩道(計画予定) → 園路作り・整備G (全体活動含) 担当
- ※遊歩道は管理用車両が通らない園路や踏分け道
- 広場整備 → 郷の館周辺整備G担当
- 自然資源発掘Gはコラボレーション区域全域が対象

- ### 基本方針
1. 月一回以上は参加して、全員参加で物事を推進しよう。
 2. 参加できなかった場合は、活動報告書及び会議議事録を確認して、情報を共有しよう。
 3. 現場活動は、あせらず、無理せず、安全第一で楽しく行動しよう。

- ### 1. 全体活動
- (1) タケノコ・竹を除去する。
 - ① タケノコや1年生の若竹を取り除く作業をする。(4～6月)
 - ② コラボ区域全体の細竹を取り除く。
 - (2) 水辺の広場を整備する。[図示]
 - ① 水辺の広場と周辺の笹を刈る。
 - ② 水辺の広場前の向井池も水辺を整備する。
 - ③ 向井池内に落下している伐採竹を取り除く。(5月竹いかり作り)

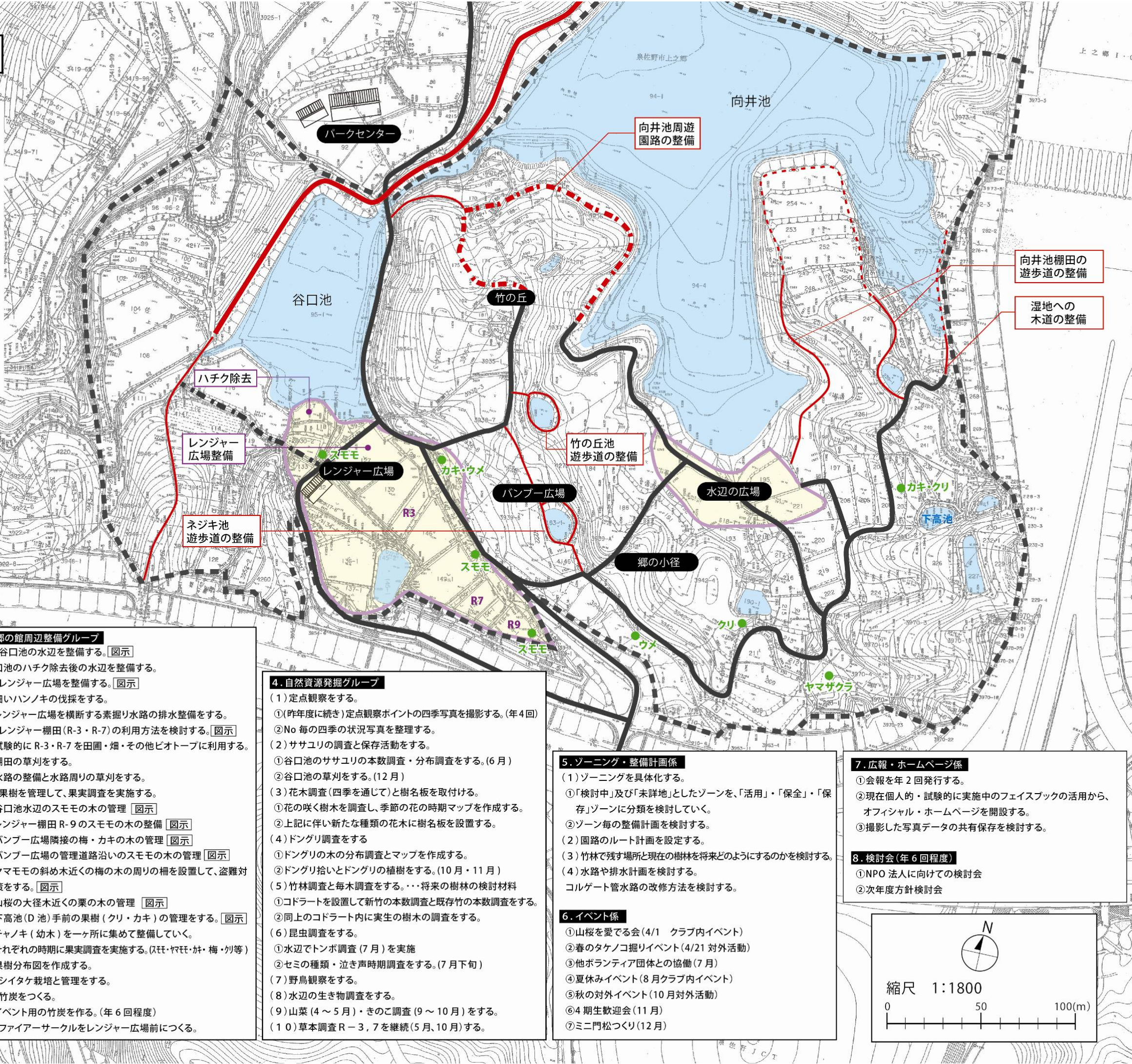
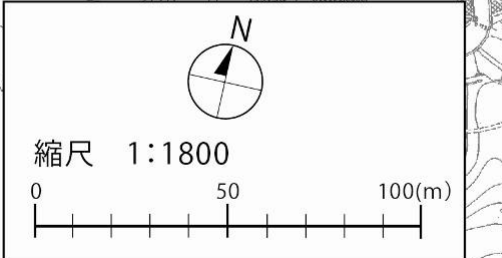
- ### 2. 園路作り・整備グループ(全体活動としても実施する)
- (1) 管理園路を整備する。[図示]
 - ① イノシシに掘り返された管理園路(竹チップ敷設)を整備する。
 - ② レンジャー広場から裏門への通路までの草刈をする。
 - ③ 管理園路沿いの1～3m程度の草刈をする。
 - (2) 踏分け道を作る。[図示]
 - ① 踏査途上にできた踏分道(幅員1m程度)ルートを検討し、確定していく。
 - ② 竹を利用して踏分道(約1m)を整備して、園路沿いの1m程度の草刈をする。
 - ③ 谷口池入口付近の急な坂道に、階段及び手すり等を取付ける。
 - (3) 向井池周遊園路を整備する。[図示]
 - ① 水辺の広場～竹の丘までの管理遠路を作る。
 - ② カワウの糞に覆われた常緑樹の枝切りをする。
 - ③ 放置された伐採竹をチップ化する。
 - (4) 向井池棚田への踏分道を作る。[図示]
 - 水辺の広場～向井池棚田～奥池への周遊園路のルートを検討する。
 - (5) 独立した小池周りを整備する。[図示]
 - ネジキ池、竹の丘池等の池の周りを周遊する踏分道を整備する。
 - (6) 向井池の料金所下の湿地へ木道(仮設)を整備する。[図示]

- ### 3. 郷の館周辺整備グループ
- (1) 谷口池の水辺を整備する。[図示]
 - 谷口池のハチク除去後の水辺を整備する。
 - (2) レンジャー広場を整備する。[図示]
 - ① 細いハンノキの伐採をする。
 - ② レンジャー広場を横断する素掘り水路の排水整備をする。
 - (3) レンジャー棚田(R-3・R-7)の利用方法を検討する。[図示]
 - ① 試験的にR-3・R-7を田圃・畑・その他ビオトープに利用する。
 - ② 棚田の草刈をする。
 - ③ 水路の整備と水路周りの草刈をする。
 - (4) 果樹を管理して、果実調査を実施する。
 - ① 谷口池水辺のスモモの木の管理 [図示]
 - ② レンジャー棚田R-9のスモモの木の整備 [図示]
 - ③ パンパー広場隣接の梅・カキの木の管理 [図示]
 - ④ パンパー広場の管理道路沿いのスモモの木の管理 [図示]
 - ⑤ ヤマモモの斜め木近くの梅の木の周りの柵を設置して、盗難対策をする。[図示]
 - ⑥ 山桜の大径木近くの栗の木の管理 [図示]
 - ⑦ 下高池(D池)手前の果樹(クリ・カキ)の管理をする。[図示]
 - ⑧ チャノキ(幼木)を一ヶ所に集めて整備していく。
 - ⑨ それぞれの時期に果実調査を実施する。(アト・マツ・ガ・梅・刈等)
 - ⑩ 果樹分布図を作成する。
 - (5) シイタケ栽培と管理をする。
 - (6) 竹炭をつくる。
 - ① イベント用の竹炭を作る。(年6回程度)
 - (7) ファイアーサークルをレンジャー広場前につくる。

- ### 4. 自然資源発掘グループ
- (1) 定点観察をする。
 - ① (昨年度に続き) 定点観察ポイントの四季写真を撮影する。(年4回)
 - ② No 毎の四季の状況写真を整理する。
 - (2) ササユリの調査と保存活動をする。
 - ① 谷口池のササユリの本数調査・分布調査をする。(6月)
 - ② 谷口池の草刈をする。(12月)
 - (3) 花木調査(四季を通じて)と樹名板を取付ける。
 - ① 花の咲く樹木を調査し、季節の花の時期マップを作成する。
 - ② 上記に伴い新たな種類の花木に樹名板を設置する。
 - (4) ドングリ調査をする
 - ① ドングリの木の分布調査とマップを作成する。
 - ② ドングリ拾いとドングリの植樹をする。(10月・11月)
 - (5) 竹林調査と毎木調査をする。…将来の樹林の検討材料
 - ① コドラートを設置して新竹の本数調査と既存竹の本数調査をする。
 - ② 同上のコドラート内に実生の樹木の調査をする。
 - (6) 昆虫調査をする。
 - ① 水辺でトンボ調査(7月)を実施
 - ② セミの種類・泣き声時期調査をする。(7月下旬)
 - (7) 野鳥観察をする。
 - (8) 水辺の生き物調査をする。
 - (9) 山菜(4～5月)・きのご調査(9～10月)をする。
 - (10) 草本調査R-3, 7を継続(5月、10月)する。

- ### 5. ゾーニング・整備計画係
- (1) ゾーニングを具体化する。
 - ① 「検討中」及び「未詳地」としたゾーンを、「活用」・「保全」・「保存」ゾーンに分類を検討していく。
 - ② ゾーン毎の整備計画を検討する。
 - ③ 竹林に残す場所と現在の樹林を将来どのようにするのかを検討する。
 - ④ 水路や排水計画を検討する。
 - (2) 園路のルート計画を設定する。
 - (3) 竹林で残す場所と現在の樹林を将来どのようにするのかを検討する。
 - ① コルゲート管水路の改修方法を検討する。
- ### 6. イベント係
- ① 山桜を愛でる会(4/1 クラブ内イベント)
 - ② 春のタケノコ掘りイベント(4/21 対外活動)
 - ③ 他ボランティア団体との協働(7月)
 - ④ 夏休みイベント(8月クラブ内イベント)
 - ⑤ 秋の対外イベント(10月対外活動)
 - ⑥ 4期生歓迎会(11月)
 - ⑦ ミニ門松づくり(12月)

- ### 7. 広報・ホームページ係
- ① 会報を年2回発行する。
 - ② 現在個人的・試験的に実施中のフェイスブックの活用から、オフィシャル・ホームページを開発する。
 - ③ 撮影した写真データの共有保存を検討する。
- ### 8. 検討会(年6回程度)
- ① NPO法人に向けての検討会
 - ② 次年度方針検討会



パーククラブの活動スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<公園整備活動(全体活動)>												
1. タケノコ・若竹除去活動			→									
・タケノコ・若竹を除去する												
・コラボ区域全体の細竹を取り除く。												→
2. 水辺の広場の整備												
・水辺の広場とその周りの笹竹を刈る												
・水辺の広場前の水辺を整備する												
・向井池落下の伐採竹を取り除く(竹いかだ作り)			竹いかだ									
3. コルゲート管水路を整備する												
<園路作り・整備グループ活動>(全体活動でも活動)												
1. 管理道路の整備												
・管理同とを整備する(小笹切りと竹チップ敷き)												
・管理道路内の草を刈る(通路を確保するため)												
・管理道路沿い(1~3m程度)を草刈る												
2. 遊歩道作り												
・踏分道から遊歩道のルートを確認していく												
・遊歩道の整備と遊歩道沿いの草刈をする												
・谷口池付近の遊歩道に階段・手すり等取付けをする												
3. 向井池周遊歩道整備												
・水辺の広場~竹の丘間の遊歩道をつくる												
・カワウの糞に覆われた樹木の枝切りをする												
・放置された伐採竹をチップ化する												
4. 向井池棚田への遊歩道作り												
・水辺の広場~棚田~奥池までの遊歩道を作る												
5. 独立した小池周りの整備												
・ネジキ池・竹の丘池の周りに遊歩道を作る												
6. 料金所下の水辺の整備												
・向井池湿地に遊歩道(木道)を作り通行可能とする												
<郷の館周り整備グループ活動>												
1. 谷口池水辺整備												
・谷口池の水辺整備(小径つくり・小川整備)												
2. レンジャー広場整備												
・細かいハンノキを伐採する												
・広場を横断する素掘り水路の排水経路を確保する												
3. レンジャー棚田の利用方法検討												
・R-3・R-7の田圃・畑・その他ビオトープに活用する												
・レンジャー棚田R-9の草刈をする												
・水路の整備と水路周りの草刈をする												
4. 果樹管理と果実調査												
・谷口池水辺のスモモの木を管理する												
・レンジャー棚田のR-1のスモモの木を管理する												
・パンプ広場隣接の梅・カキの木の管理をする												
・パンプ広場道路向かいのスモモの木を管理する												
・ヤマモモの斜め木近くの梅の木に柵を設置する												
・山桜大径木近くのクリの木の管理をする												
・下高池近くのクリ・カキの木を管理する												
・チャノキを1ヶ所に集める												
・果実調査(ウメ・スモモ・ヤマモモ・グミ・カキ等)と収穫			ウメ・スモモ・ヤマモモ			クリ	カキ					
5. シイタケ栽培と管理												
・シイタケのほだ木作り												
・シイタケの菌打ち												
6. 竹炭つくり	○		○		○		○		○		○	
7. ファイヤーサークルづくり(レンジャー広場)												

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<自然資源発掘グループ>												
1. 定点観察												
・定点観測をして、四季の写真を撮影する	○			○								
・観察ポイント毎の四季の状況写真を整理する												→
2. ササユリ調査・保存												
・谷口池のササユリの本数調査・分布調査をする				○								
・草刈をする											草刈	
3. 花木調査と樹名板設置												
・花の咲く樹木を調査し、季節の花の時期マップ作成												
・上記に伴う新たな種類の樹木に樹名板を設置する												→
4. ドングリ調査												
・ドングリの木の分布調査とマップを作成する												
・ドングリ(コナラ・クヌギ・アラカシ)拾いとドングリを植樹する												
5. 竹林調査と毎木調査												
・新竹の本数調査と既存竹の本数調査をする												
・同上の調査で実生の樹木調査をする												
6. 昆虫調査												
・トンボ調査をする												
・セミの種類調査をする(どこでどのセミが鳴くのか)												
7. 野鳥観察												
・向井池・谷口池で定期的に観察する												
8. 水辺の生き物調査												
・向井池・谷口池でどのような生き物がいるか調査												
9. 山菜・きのこ調査												
・山菜調査												
・きのこ調査(年2回)												
10. 草本調査R-3、7			○						○			
<ゾーニング・整備計画係>												
1. ゾーニングの具体化												
・検討中・未詳地のゾーン分類をする												
・ゾーン毎の整備計画を検討する												
2. 園路のルート計画を設定する												
3. 竹林で残すエリアと将来の樹林を検討する												
4. 水路・排水計画												
・コルゲート管水路の改修方法を検討する												10月より改修実施
<イベント係>												
1. 山桜を愛でる会	○											
2. 山桜と春のタケノコ掘り	○											
3. 他ボランティア団体の見学と協働				○								
4. 夏休みイベント(クラブ内イベント)					○							
5. 秋の対外イベント									○			
6. 4期生歓迎会										○		
7. ミニ門松作り(クラブ内イベント)											○	
<広報・ホームページ係>												
1. 会報の発行(年2回発行)											第2号	第3号
2. ホームページ開設												開設
3. 撮影した写真データの共有保存の検討												→
<検討会>												
1. NPO法人検討と具体化		○		○		○		○				○
2. 次年度方針検討会												○

2012年度 活動ルール

1. 全体活動は、役員が主導して実施する。
2. グループ活動はどれか1つ以上所属することができ、毎回どのグループの活動に自由参加できる。
3. グループ活動は、リーダー及びサブリーダーが計画し、当日の担当者（責任者）をあらかじめ決めておく。
4. 当日のグループ担当者は、計画通り実行し、その活動報告を役員に報告する。
5. 役員は、各グループの担当者からの実施計画と活動後の実施報告を取りまとめ、それぞれ実施計画書と実施報告書を会員に報告する。
6. 勉強会は、3グループの持回りとし、活動・調査等の報告や問題点を把握し共有する場として、また会員の知識を増やすために実施する。
7. 顔と名前を覚えるためと車の乗り合わせをしやすいために地区編成をして、会議や勉強会の席順や全体活動の班編成の際に活用する。
8. 当日の準備と後片付けを地区編成の2地区毎に担当する。